



# Cisco Unified IP Phone の設定値の設定

**【注意】** シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 ([www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Cisco Unified IP Phone にはネットワークやデバイスの設定が数多くあるため、ユーザが電話機の利用を開始する前に、システム管理者がその設定作業を終えておく必要があります。これらの設定値には、電話機のメニューからアクセスして変更できます。

この章は、次の項で構成されています。

- 「Cisco Unified IP Phones 7906G および 7911G の設定メニュー」 (P.2)
- 「電話機から設定可能なオプションの概要」 (P.6)

- 「ネットワークの設定メニュー」 (P.8)
- 「デバイス設定メニュー」 (P.18)

# Cisco Unified IP Phones 7906G および 7911G の設定メニュー

Cisco Unified IP Phone には、次の設定メニューが用意されています。

- [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニュー：さまざまなネットワークを表示、設定できるオプションがあります。詳細については、「ネットワークの設定メニュー」 (P.8) を参照してください。
- [デバイス設定 (Device Configuration) ]メニュー：ネットワークに関連しないさまざまな設定を表示するサブメニューにアクセスできます。詳細については、「デバイス設定メニュー」 (P.18) を参照してください。

[ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション設定を変更するには、その前に編集するオプションロックを解除する必要があります。手順については、「オプションのロック解除とロック」 (P.4) を参照してください。

オプション設定値の編集や変更に使用できるキーについては、「オプション設定値の編集」 (P.5) を参照してください。

Cisco Unified CallManager Administration の [電話の設定 (Phone Configuration) ]ページにある [設定アクセス (Settings Access) ]フィールドを使用すると、電話機のユーザが電話機の設定にアクセスできるかどうかを制御できます。詳細については、『Cisco Unified CallManager Administration Guide』を参照してください。

## 関連トピック

- 「オプションのロック解除とロック」 (P.4)
- 「オプション設定値の編集」 (P.5)
- 「電話機から設定可能なオプションの概要」 (P.6)
- 「ネットワークの設定メニュー」 (P.8)
- 「デバイス設定メニュー」 (P.18)

## 設定メニューの表示

設定メニューを表示するには、次の手順を実行します。



(注)

Cisco Unified CallManager Administration の [電話の設定 (Phone Configuration)] ページにある [設定アクセス (Settings Access)] フィールドを使用すると、電話機から [設定 (Settings)] メニューやこのメニューのオプションにアクセスできるかどうかを制御できます。設定アクセス フィールドでは、次の値を設定できます。

- [有効 (Enabled)] : [設定 (Settings)] メニューへのアクセスを許可します。
- [無効 (Disabled)] : [設定 (Settings)] メニューへのアクセスを禁止します。
- [非許可 (Restricted)] : [ユーザ設定 (User Preferences)] メニューへのアクセスを許可し、音量の変更を保存することを許可します。[設定 (Settings)] メニューの他のオプションへのアクセスは禁止します。

[設定 (Settings)] メニューのオプションにアクセスできない場合は、[設定アクセス (Settings Access)] フィールドを確認してください。詳細については、『Cisco Unified CallManager Administration Guide』を参照してください。

### 手順

- ステップ 1** アプリケーションメニュー (Applications Menu) ボタンを押します。
- ステップ 2** [設定 (Settings)] > [ネットワークの設定 (Network Configuration)] または [デバイス設定 (Device Configuration)] を選択します。
- ステップ 3** 次のいずれかの操作を実行して、[ネットワークの設定 (Network Configuration)] メニューまたは [デバイス設定 (Device Configuration)] メニューを表示します。
  - ナビゲーション ボタンを使用してメニューを選択し、[選択 (Select)] ソフトキーを押します。
  - 電話機のキーパッドを使用して、メニューに対応する番号を入力します。
- ステップ 4** サブメニューを表示するには、[ステップ 3](#) を繰り返します。

- ステップ 5** メニューを終了するには、[ 終了 (Exit) ] ソフトキーを押します。[ アプリケーション (Applications) ] メニューに戻るには、アプリケーションメニュー (Applications Menu) ボタンを 1 回以上押します。

### 関連トピック

- 「オプションのロック解除とロック」 (P.4)
- 「オプション設定値の編集」 (P.5)
- 「電話機から設定可能なオプションの概要」 (P.6)
- 「ネットワークの設定メニュー」 (P.8)
- 「デバイス設定メニュー」 (P.18)

## オプションのロック解除とロック

電話機から変更できる設定オプションは、デフォルトでロックされています。これは、ユーザが電話機の操作に影響を与える変更を行えないようにするためです。システム管理者は、設定オプションを変更する前に、ロックを解除しておく必要があります。

オプションが変更できなくなっている場合は、**ロックされた鍵のアイコン**が設定メニューに表示されます。オプションのロックが解除され、変更できるようになっている場合、これらのメニューには次のように**ロックを解除された鍵のアイコン**が表示されます。



オプションをロックまたはロック解除するには **\*\*#** を押します。この操作を行うことにより、オプションがロックされるか、ロックが解除されます (直前の状態によりどちらかになります)。

変更が終わったら、オプションをロックする必要があります。

**注意**

\*\*\* を押してオプションをロック解除した直後に、再び \*\*\* を押してオプションをロックしないでください。電話機はこのような連続操作を \*\*\*\* と解釈するため、電話機がリセットされます。オプションをロック解除した後に再びロックする場合は、少なくとも 10 秒間待ってから、\*\*\* を押すようにしてください。

**関連トピック**

- 「設定メニューの表示」 (P.3)
- 「オプション設定値の編集」 (P.5)
- 「電話機から設定可能なオプションの概要」 (P.6)
- 「ネットワークの設定メニュー」 (P.8)
- 「デバイス設定メニュー」 (P.18)

## オプション設定値の編集

オプション設定値を編集するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 数値と文字を入力するには、キーパッド上のキーを使用します。
- キーパッドを使用して文字を入力するには、対応する数値キーを使用します。キーを 1 回または何回か押して、個々の文字を表示します。たとえば、「a」を入力するには、番号キーの [2] を 1 回押します。「b」を入力するには 2 回、「c」を入力するには 3 回すばやく押します。少し間を置くと、カーソルが次の文字を入力する位置に自動的に移動します。
- (IP アドレスなどに含まれる) ピリオドを入力するには、[.] (ピリオド) ソフトキーを押すか、キーパッドの [\*] を押します。
- キーを間違えて押した場合は、[<<] ソフトキーを押します。このソフトキーを押すと、カーソルの左側にある文字が削除されます。
- 行った変更をすべて破棄するには、[保存 (Save)] ソフトキーを押す前に [キャンセル (Cancel)] ソフトキーを押します。

**(注)**

Cisco Unified IP Phone では、必要に応じて、いくつかの方法でオプション設定値をリセットまたは復元することができます。詳細については、「[Resetting or Restoring the Cisco Unified IP Phone](#)」 (P.9-15) を参照してください。

## ■ 電話機から設定可能なオプションの概要

## 関連トピック

- 「設定メニューの表示」 (P.3)
- 「オプションのロック解除とロック」 (P.4)
- 「電話機から設定可能なオプションの概要」 (P.6)
- 「ネットワークの設定メニュー」 (P.8)
- 「デバイス設定メニュー」 (P.18)

## 電話機から設定可能なオプションの概要

電話機で変更できる設定は、表 4-1 で示すとおり、いくつかのカテゴリに分かれています。各設定の詳細な説明や変更方法については、「ネットワークの設定メニュー」 (P.8) を参照してください。



(注)

[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューと [ デバイス設定 (Device Configuration) ] メニューには、表示専用のオプションもあれば、Cisco Unified CallManager を使用して設定できるオプションもあります。これらのオプションについては、「ネットワークの設定メニュー」 (P.8) および「デバイス設定メニュー」 (P.18) でも説明されています。

表 4-1 [ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューの設定値

カテゴリ	説明	[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューのオプション
DHCP の設定 (DHCP settings)	DHCP (ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル) を使用している場合、ネットワークにデバイスを接続すると、デバイスの IP アドレスが自動的に割り当てられます。Cisco Unified IP Phone では、DHCP がデフォルトで有効になっています。	DHCP を使う (DHCP Enabled) DHCP アドレス解放 (DHCP Address Released)

表 4-1 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューの設定値 (続き)

カテゴリ	説明	[ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューのオプション
IP の設定 (IP settings)	ネットワークで DHCP を使用しない場合は、IP 設定を手動で行います。	ドメイン名 (Domain Name)
		IP アドレス (IP Address)
		サブネット マスク (Subnet Mask)
		デフォルト ルータ 1-5 (Default Router 1-5)
TFTP の設定 (TFTP settings)	電話機から TFTP サーバへの送信に DHCP を使用しない場合は、TFTP サーバを手動で割り当てる必要があります。DHCP で割り当てられる TFTP サーバの代わりに、代替 TFTP サーバを割り当てて使用することもできます。	TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1)
		代替 TFTP (Alternate TFTP)
		TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2)
VLAN 設定 (VLAN settings)	電話機が使用している管理 VLAN を変更できます。	管理 VLAN ID (Admin. VLAN ID)
		PC VLAN (7911G のみに適用)
ポート設定 (Port settings)	ネットワーク ポートやアクセス ポートの速度と全二重/半二重の設定を変更できます。	SW ポート設定 (SW Port Configuration)
		PC ポート設定 (PC Port Configuration) (7911G のみに適用)

#### 関連トピック

- [「設定メニューの表示」 \(P.3\)](#)
- [「オプションのロック解除とロック」 \(P.4\)](#)
- [「オプション設定値の編集」 \(P.5\)](#)
- [「ネットワークの設定メニュー」 \(P.8\)](#)
- [「デバイス設定メニュー」 \(P.18\)](#)

## ネットワークの設定メニュー

[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューには、さまざまなネットワークを表示、設定できるオプションがあります。表 4-2 に、これらのオプションの説明を示します。また、該当する場合には、それらの変更方法についても併せて説明します。

[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューにアクセスする方法については、「設定メニューの表示」(P.3) を参照してください。

このメニューのオプションを変更する前に、オプションのロックを解除しておく必要があります。詳細については、「オプションのロック解除とロック」(P.4) を参照してください。オプションのロックが解除されている場合に限り、ネットワークの設定オプションを変更するための [編集 (Edit)]、[Yes]、または [No] というソフトキーが表示されます。

オプションの編集に使用できるキーについては、「オプション設定値の編集」(P.5) を参照してください。

表 4-2 [ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
DHCP サーバ (DHCP Server)	電話機の IP アドレス取得元となる Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) サーバの IP アドレス。	表示のみ (変更不可)。
BOOTP サーバ (BOOTP Server)	電話機の設定が DHCP サーバからではなく BootP (ブートストラッププロトコル) サーバから取得されたかどうかを表示します。	表示のみ (変更不可)。
MAC アドレス (MAC Address)	電話機固有のメディア アクセス コントロール (MAC) アドレス。	表示のみ (変更不可)。
ホスト名 (Host Name)	電話機の MAC アドレスに基づいて電話機に自動的に割り当てられる一意の固定された名前。	表示のみ (変更不可)。

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
ドメイン名 (Domain Name)	電話機が常駐しているドメイン ネーム システム (DNS) ドメイン の名前。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>[ DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [ いいえ (No) ] に設定します。</li> <li>[ ドメイン名 (Domain Name) ] オプションまでスクロールし、[ 編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しいドメイン名を入力します。</li> <li>[ 確認 (Validate) ] ソフトキーを押して、[ 保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>
IP アドレス (IP Address)	電話機のインターネットプロトコル (IP) アドレス。  IP アドレスをこのオプションで割り当てる場合は、サブネットマスクとデフォルト ルータも割り当てる必要があります。この表の [ サブネットマスク (Subnet Mask) ] オプションと [ デフォルト ルータ (Default Router) ] オプションを参照してください。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>[ DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [ いいえ (No) ] に設定します。</li> <li>[ IP アドレス (IP Address) ] オプションまでスクロールし、[ 編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しい IP アドレスを入力します。</li> <li>[ 確認 (Validate) ] ソフトキーを押して、[ 保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>
サブネットマスク (Subnet Mask)	電話機で使用されるサブネットマスク。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>[ DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [ いいえ (No) ] に設定します。</li> <li>[ サブネットマスク (Subnet Mask) ] オプションまでスクロールし、[ 編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しいサブネットマスクを入力します。</li> <li>[ 確認 (Validate) ] ソフトキーを押して、[ 保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1)	<p>電話機で使用される、プライマリ の Trivial File Transfer Protocol (TFTP) サーバ。ネットワークで DHCP を使用していない場合、このサーバを変更するには [TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションを使用する必要があります。</p> <p>[代替 TFTP (Alternate TFTP) ] オプションを [はい (Yes) ] に設定した場合は、[TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションに 0 以外の値を入力する必要があります。</p> <p>プライマリ TFTP サーバもバックアップ TFTP サーバも、電話機の CTL ファイルに記述されていない場合は、[TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションの変更内容を保存する前に、CTL ファイルのロックを解除する必要があります。この場合、[TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションへの変更を保存すると、CTL ファイルは削除されます。</p> <p>CTL ファイルの詳細については、『Cisco Unified CallManager Security Guide』を参照してください。CTL ファイルのロック解除については、「CTL File Screen」(P.7-3) を参照してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要に応じて、CTL ファイルのロックを解除します。</li> <li>2. DHCP が有効な場合、[代替 TFTP (Alternate TFTP) ] オプションを [はい (Yes) ] に設定します。</li> <li>3. [TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションまでスクロールし、[編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しい TFTP サーバの IP アドレスを入力します。</li> <li>4. [確認 (Validate) ] ソフトキーを押して、[保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2)	<p>プライマリの TFTP サーバが使用不能の場合に、電話機で使用されるオプションのバックアップ TFTP サーバ。</p> <p>プライマリ TFTP サーバもバックアップ TFTP サーバも、電話機の CTL ファイルに記述されていない場合は、[TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2) ] オプションの変更内容を保存する前に、CTL ファイルのロックを解除する必要があります。この場合、[TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2) ] オプションへの変更を保存すると、CTL ファイルは削除されます。</p> <p>CTL ファイルの詳細については、『<i>Cisco Unified CallManager Security Guide</i>』を参照してください。CTL ファイルのロック解除については、「<a href="#">CTL File Screen</a>」(P.7-3) を参照してください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要に応じて、CTL ファイルのロックを解除します。</li> <li>2. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>3. [TFTP サーバ 1 (TFTP Server 1) ] オプションに IP アドレスを入力します。</li> <li>4. [TFTP サーバ 2 (TFTP Server 2) ] オプションまでスクロールし、[編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しいバックアップ TFTP サーバの IP アドレスを入力します。</li> <li>5. [確認 (Validate) ] ソフトキーを押して、[保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
デフォルト ルータ 1 (Default Router 1) デフォルト ルータ 2 (Default Router 2) デフォルト ルータ 3 (Default Router 3) デフォルト ルータ 4 (Default Router 4) デフォルト ルータ 5 (Default Router 5)	電話機で使用されるデフォルト ルータ ([デフォルト ルータ 1 (Default Router 1) ]) およびオプションのバックアップ ルータ ([デフォルト ルータ 2 (Default Router 2) ] ~ [デフォルト ルータ 5 (Default Router 5) ] )。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [いいえ (No) ] に設定します。</li> <li>3. 目的の [デフォルト ルータ (Default Router) ] オプションまでスクロールし、[編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しいルータの IP アドレスを入力します。</li> <li>4. [確認 (Validate) ] ソフトキーを押します。</li> <li>5. 必要に応じてステップ 3 ~ 4 を繰り返し、バックアップ ルータを割り当てます。</li> <li>6. [保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>
DNS サーバ 1 (DNS Server 1) DNS サーバ 2 (DNS Server 2) DNS サーバ 3 (DNS Server 3) DNS サーバ 4 (DNS Server 4) DNS サーバ 5 (DNS Server 5)	電話機で使用されるプライマリ DNS サーバ ([DNS サーバ 1 (DNS Server 1) ]) およびオプションのバックアップ DNS サーバ ([DNS サーバ 2 (DNS Server 2) ] ~ [DNS サーバ 5 (DNS Server 5) ] )。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションを [いいえ (No) ] に設定します。</li> <li>3. 目的の [DNS サーバ (DNS Server) ] オプションまでスクロールし、[編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しい DNS サーバの IP アドレスを入力します。</li> <li>4. [確認 (Validate) ] ソフトキーを押します。</li> <li>5. 必要に応じてステップ 3 ~ 4 を繰り返し、バックアップ DNS サーバを割り当てます。</li> <li>6. [保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
接続先 VLAN ID (Operational VLAN ID)	<p>電話機が所属する、Cisco Catalyst スイッチに設定されたボイス VLAN。</p> <p>電話機が補助 VLAN をまだ受信していない場合、このオプションは管理 VLAN を示しています。</p> <p>補助 VLAN と管理 VLAN のいずれも設定されていない場合、このオプションは空白になります。</p>	<p>電話機は、電話機が接続されているスイッチから、Cisco Discovery Protocol (CDP) を通じて接続先 VLAN ID を取得します。</p> <p>VLAN ID を手動で割り当てるには、[管理 VLAN ID (Admin. VLAN ID) ] オプションを使用します。</p>
管理 VLAN ID (Admin. VLAN ID)	<p>電話機がメンバーになっているボイス VLAN。</p> <p>電話機がスイッチから補助 VLAN を受信していない場合のみ使用され、その他の場合は無視されます。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [管理 VLAN ID (Admin VLAN ID) ] オプションまでスクロールし、[編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しい管理 VLAN 設定値を入力します。</li> <li>3. [確認 (Validate) ] ソフトキーを押して、[保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>
DHCP を使う (DHCP Enabled)	<p>電話機で DHCP が使用されているかどうかを示します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [DHCP を使う (DHCP Enabled) ] オプションまでスクロールし、[いいえ (No) ] ソフトキーを押して DHCP を無効にするか、[はい (Yes) ] ソフトキーを押して DHCP を有効にします。</li> <li>3. [保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
DHCP アドレス解放 (DHCP Address Released)	DHCP によって割り当てられた IP アドレスを解放します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [DHCP アドレス解放 (DHCP Address Released) ] オプションまでスクロールします。DHCP で割り当てられた IP アドレスを解放するには [Yes] ソフトキーを押し、この IP アドレスを解放しない場合は [No] ソフトキーを押しします。</li> <li>3. [保存 (Save) ] ソフトキーを押しします。</li> </ol>
代替 TFTP (Alternate TFTP)	電話機が代替 TFTP サーバを使用しているかどうかを示します。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [代替 TFTP (Alternate TFTP) ] オプションまでスクロールします。電話機で代替 TFTP サーバを使用する場合は [Yes] ソフトキーを押しします。それ以外の場合は [No] ソフトキーを押しします。</li> <li>3. [保存 (Save) ] ソフトキーを押しします。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
SW ポート設定 (SW Port Configuration)	<p>ネットワーク ポートの速度とデュプレックス (10/100 SW というラベル)。有効な値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動ネゴシエーション (Auto Negotiate)</li> <li>• [10 ハーフ (10 Half) ] : 10-BaseT/半二重</li> <li>• [10 フル (10 Full) ] : 10-BaseT/全二重</li> <li>• [100 ハーフ (100 Half) ] : 100-BaseT/半二重</li> <li>• [100 フル (100 Full) ] : 100-BaseT/全二重</li> </ul> <p>電話機がスイッチに接続されている場合は、スイッチ上のポートを電話機と同じ速度および二重化方式に設定するか、両方を自動ネゴシエーションに設定します。</p> <p>このオプションの設定値を変更する場合は、[PC ポート設定 (PC Port Configuration) ] オプションを同じ設定値に変更する必要があります (7911G のみに適用)。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [SW ポート設定 (SW Port Configuration) ] オプションまでスクロールし、[編集 (Edit) ] ソフトキーを押します。</li> <li>3. 選択する設定までスクロールし、[選択 (Select) ] ソフトキーを押します。</li> <li>4. [保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
PC ポート設定 (PC Port Configuration) (7911G のみに適用)	<p>アクセス ポートの速度とデュプレックス (10/100 PC というラベル)。有効な値は、次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動ネゴシエーション (Auto Negotiate)</li> <li>• [10 ハーフ (10 Half) ] : 10-BaseT/半二重</li> <li>• [10 フル (10 Full) ] : 10-BaseT/全二重</li> <li>• [100 ハーフ (100 Half) ] : 100-BaseT/半二重</li> <li>• [100 フル (100 Full) ] : 100-BaseT/全二重</li> </ul> <p>電話機がスイッチに接続されている場合は、スイッチ上のポートを電話機と同じ速度および二重化方式に設定するか、両方を自動ネゴシエーションに設定します。</p> <p>このオプションの設定値を変更する場合は、[SW ポート設定 (SW Port Configuration) ] オプションを同じ設定値に変更する必要があります。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>2. [PC ポート設定 (PC Port Configuration) ] オプションまでスクロールし、[編集 (Edit) ] ソフトキーを押します。</li> <li>3. 選択する設定までスクロールし、[選択 (Select) ] ソフトキーを押します。</li> <li>4. [保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>

表 4-2 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ]メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
PC VLAN (7911G のみに適用)	電話機とシスコ製以外のスイッチとの連携を向上できます。電話機のアクセスポートから PC に向かうパケットから 802.1P/Q タグを除去します。このオプションを変更する前に、[管理 VLAN ID (Admin. VLAN ID) ] オプションを設定する必要があります。	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] のオプションのロックを解除します。</li> <li>[ 管理 VLAN ID (Admin. VLAN ID) ] オプションが設定されていることを確認します。</li> <li>[ PC VLAN ] オプションまでスクロールし、[ 編集 (Edit) ] ソフトキーを押して、新しい PC VLAN 設定を入力します。</li> <li>[ 確認 (Validate) ] ソフトキーを押して、[ 保存 (Save) ] ソフトキーを押します。</li> </ol>
復帰フォーカス優先度 (Reverting Focus Priority)	<p>電話機が電話機画面上のコールのフォーカスを着信コールに移動するか、保留復帰コールに移動するかを示します。次の設定があります。</p> <p>[ 低く (Lower) ] : フォーカス優先度は着信コールに設定されます。</p> <p>[ 高く (Higher) ] : フォーカス優先度は復帰コールに設定されます。</p> <p>[ 均一 (Even) ] : フォーカス優先度は最初のコールに設定されます。</p>	<p>オプションを変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。</p> <p>「保留復帰」も参照してください。</p>

### 関連トピック

- 「設定メニューの表示」 (P.3)
- 「オプションのロック解除とロック」 (P.4)
- 「オプション設定値の編集」 (P.5)
- 「電話機から設定可能なオプションの概要」 (P.6)
- 「デバイス設定メニュー」 (P.18)

## デバイス設定メニュー

[デバイス設定 (Device Configuration)] メニューには、電話機の設定ファイルで指定されているさまざまな設定値を表示するためのサブメニューが用意されています。(電話機は、設定ファイルを TFTP サーバからダウンロードします)。これらのサブメニューは次のとおりです。

- 「CallManager の設定メニュー」 (P.18)
- 「HTTP の設定メニュー」 (P.21)
- 「ロケールの設定メニュー」 (P.22)
- 「メディアの設定メニュー」 (P.24)
- 「イーサネットの設定メニュー」 (P.24)
- 「セキュリティ設定メニュー」 (P.25)
- 「QoS の設定メニュー」 (P.27)
- 「ネットワークの設定」 (P.28)

[デバイス設定 (Device Configuration)] メニューとそのサブメニューの表示方法については、「設定メニューの表示」 (P.3) を参照してください。

## CallManager の設定メニュー

[CallManager の設定 (CallManager Configuration)] メニューには、[CallManager 1]、[CallManager 2]、[CallManager 3]、[CallManager 4]、および [CallManager 5] の各オプションがあります。これらのオプションは、電話機からのコールを処理するために使用できる Cisco Unified CallManager サーバを優先順位の順番に表示します。

これらのオプションを変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

利用可能な Cisco Unified CallManager サーバについては、[CallManager の設定 (CallManager Configuration) ] メニューのオプションを選択すると、Cisco Unified CallManager サーバの IP アドレスまたは名前と表 4-3 に示す状態のいずれかが表示されます。

**表 4-3 Cisco Unified CallManager サーバの状態**

状態	説明
Active	電話機が現在コール処理サービスを受けている Cisco Unified CallManager サーバです。
Standby	現在のサーバがダウンした場合に、電話機が切り替える Cisco Unified CallManager サーバです。
空欄	この Cisco Unified CallManager サーバへの接続は現在ありません。

このオプションには、表 4-4 に示す指定またはアイコンが 1 つ以上含まれる場合があります。

**表 4-4 Cisco Unified CallManager サーバの指定**

指定	説明
SRST	<p>Cisco Unified CallManager の限定フィーチャセットを提供できる Survivable Remote Site Telephony (SRST) ルータの指定を示しています。このルータは、他のすべての Cisco Unified CallManager サーバが到達不能になった場合に、コールの処理を引き継ぎます。SRST Cisco Unified CallManager は、アクティブであっても、常にサーバのリストの最後尾に表示されます。</p> <p>SRST ルータ アドレスは、Cisco Unified CallManager Administration の [SRST 参照先の設定 (SRST Reference Configuration)] ページ ([システム (System)] &gt; [SRST] を選択する) で設定します。SRST 参照先は、[デバイス プール設定 (Device Pool Configuration)] ページ ([システム (System)] &gt; [デバイス プール (Device Pool)] を選択) で設定します。</p>
TFTP	<p>設定ファイルに記述されている Cisco Unified CallManager に電話機が登録できないため、代わりに TFTP サーバに登録されたことを示しています。</p>
 (認証アイコン)	<p>Cisco Unified CallManager への接続が認証されたことを示しています。認証の詳細については、『Cisco Unified CallManager Security Guide』を参照してください。</p>
 (暗号化アイコン)	<p>Cisco Unified CallManager への接続が認証および暗号化されたことを示しています。認証および暗号化の詳細については、『Cisco Unified CallManager Security Guide』を参照してください。</p>

## HTTP の設定メニュー

[HTTP の設定 (HTTP Configuration) ] メニューは、電話機で多様な情報の取得元となるサーバの URL を表示します。このメニューには、電話機の未使用画面に関する情報も表示されます。

表 4-5 に、[HTTP の設定 (HTTP Configuration) ] メニューのオプションを示します。

表 4-5 [HTTP の設定 (HTTP Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
ディレクトリ URL (Directories URL)	電話機でディレクトリ情報の取得元となるサーバの URL。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
サービス URL (Services URL)	電話機が Cisco Unified IP Phone サービスを取得するサーバの URL。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
メッセージ URL (Messages URL)	電話機でメッセージ サービスの取得元となるサーバの URL。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
情報 URL (Information URL)	電話機に表示されるヘルプ テキストの URL。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
認証 URL (Authentication URL)	電話機の Web サーバに発行された要求を検証するために、電話機が使用する URL。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
プロキシ サーバの URL (Proxy Server URL)	電話機の HTTP クライアントの代わりにローカル以外のホストアドレスに HTTP 要求を送信し、ローカル以外のホストから電話機の HTTP クライアントへの応答を提供するプロキシ サーバの URL。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

表 4-5 [HTTP の設定 (HTTP Configuration) ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
アイドル URL (Idle URL)	[URL のアイドル時間 (Idle URL Time) ] オプションで指定した時間内に電話機の使用がなかった場合に表示される XML サービスの URL を表示します。たとえば、[アイドル URL (Idle URL) ] オプションと [URL のアイドル時間 (Idle URL Time) ] オプションを使用して、電話機が 5 分間使用されなかった場合に、LCD スクリーンに株価情報やカレンダーを表示することができます。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
URL のアイドル時間 (Idle URL Time)	[アイドル URL (Idle URL) ] オプションで指定した XML サービスが起動するまでに、電話機が使用されずメニューを開かなかった時間 (秒数) を表示します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

## ロケールの設定メニュー

[ロケールの設定 (Locale Configuration) ] メニューには、電話機が使用するユーザ ロケールとネットワーク ロケールに関する情報が表示されます。表 4-6 で、このメニューのオプションについて説明します。

表 4-6 [ロケールの設定 (Locale Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
ユーザ ロケール (User Locale)	電話機のユーザに関連付けられているユーザ ロケール。ユーザ ロケールは、言語、フォント、日時の表示形式、英数字のキーボード テキスト情報など、ユーザをサポートするための一連の詳細情報を識別します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
ユーザ ロケール バージョン (User Locale Version)	電話機にロードされたユーザ ロケールのバージョン。	表示のみ (変更不可)。
ユーザ ロケール 文字セット (User Locale Char Set)	ユーザ ロケールに対応して電話機が使用する文字セットを表示します。	表示のみ (変更不可)。
ネットワーク ロケール (Network Locale)	電話機のユーザに関連付けられたネットワーク ロケール。ネットワーク ロケールは、電話機で使用されるトーンや断続周期の定義など、特定の場所にある電話機をサポートするための一連の詳細情報を識別します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
ネットワーク ロケール バージョン (Network Locale Version)	電話機にロードされたネットワーク ロケールのバージョン。	表示のみ (変更不可)。

## UI の設定メニュー

[UI の設定 (UI Configuration) ] メニューは、グループ リッスン機能が有効かどうかを表示します。変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

表 4-7 [UI の設定 (UI Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
グループ リッスン (Group Listen)、有効 (Enabled) / 無効 (Disabled)	グループ リッスン機能が有効か、無効かを示します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

## メディアの設定メニュー

[メディアの設定 (Media Configuration) ] メニューは、スピーカ機能が有効かどうかを表示します。変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

表 4-8 [メディアの設定 (Media Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
スピーカを使う (Speaker Enabled)	スピーカが、電話機のコールのモニタリングに対して有効かどうかを示します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

## イーサネットの設定メニュー

[イーサネットの設定 (Ethernet Configuration) ] メニューは、電話機で [PC ポートへのスパン (Span to PC Port) ] オプションが有効かどうかを表示します (Cisco Unified IP Phone 7911G のみ)。表 4-9 で、このオプションについて説明します。

表 4-9 [イーサネットの設定 (Ethernet Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
PC ポートへのスパン (Span to PC Port) (7911G のみに適用)	<p>電話機で送受信されるパケットを PC ポートへ転送するかどうかを指定します。</p> <p>電話機のトラフィックをモニタリングする必要があるアプリケーションが、アクセス ポート上で実行されている場合は、このオプションを有効にする必要があります。モニタリングおよび記録用のアプリケーション (コールセンター環境で一般的に使用される) や、診断に使用されるネットワーク パケット キャプチャ ツールはこのようなアプリケーションの一種です。</p> <p>[PC ポートへのスパン (Span to PC Port) ] が有効な場合、Cisco Unified IP Phone 7911 に接続された PC は、802.1x を使用して認証できません。</p>	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

## セキュリティ設定メニュー

[セキュリティ設定 (Security Configuration) ] メニューは、電話機のセキュリティに関する設定を表示します。

セキュリティに関する追加情報を表示し、電話機の [セキュリティ設定 (Security Configuration) ] 画面から CTL ファイルのロックを解除できます。詳細については、「[Security Configuration Menu](#)」(P.7-2) を参照してください。

表 4-10 に、[セキュリティ設定 (Security Configuration) ] メニューのオプションを示します。

表 4-10 [セキュリティ設定 (Security Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
PC ポートを無効にする (PC Port Disabled) (7911G のみに適用)	電話機のアクセス ポートを有効にする (No) か無効にする (Yes) かを表示します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
GARP を使う (GARP Enabled)	電話機が Gratuitous ARP 応答から MAC アドレスを取得するかどうかを示します。電話機が Gratuitous ARP を受信する機能を無効にすると、この仕組みを使ってボイス ストリームのモニタリングおよび記録を行うアプリケーションが機能しなくなります。音声のモニタリングが不要な場合は、このオプションを [無効 (No) ] に設定します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
ボイス VLAN を使う (Voice VLAN Enabled) (7911G のみに適用)	ボイス VLAN にアクセスするために、アクセス ポートに接続されたデバイスを電話機で使用するかどうかを表示します。このオプションを [無効 (No) ] に設定すると、接続された PC でボイス VLAN のデータを送受信することができなくなります。また、電話機によって送信および受信されたデータを PC で受信することもできなくなります。電話機のトラフィックをモニタリングする必要のあるアプリケーションが PC で稼働している場合は、この設定を [Yes] (有効) にします。モニタリングおよび記録用のアプリケーション、ネットワーク モニタリング ソフトウェアはこのようなアプリケーションの一種です。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
Web アクセス可能 (Web Access Enabled)	電話機の Web アクセスが有効 ([はい (Yes) ]) か無効 ([いいえ (No) ]) かを示します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

表 4-10 [セキュリティ設定 (Security Configuration) ] メニューのオプション (続き)

オプション	説明	変更の手順
セキュリティモード (Security Mode)	電話機に設定されているセキュリティモードを表示します。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
ログ表示 (Logging Display)	<p>Cisco Technical Assistance Center (TAC) でトラブルシューティングに使用します。</p> <p>Cisco Unified IP Phone 7911G は、[有効 (Enabled) ]/[無効 (Disabled) ]/[PC 制御 (PC Controlled) ] に設定できます。</p> <p>Cisco Unified IP Phone 7906G は、[有効 (Enabled) ]/[無効 (Disabled) ] のみをサポートしています ([PC 制御 (PC Controlled) ] はサポートしていません)。</p>	—

## QoS の設定メニュー

[QoS の設定 (QoS Configuration) ] メニューは、電話機の Quality Of Service (QoS) に関連する情報を表示します。表 4-11 に、[QoS 設定 (QoS Configuration) ] メニューのオプションを示します。

表 4-11 [QoS の設定 (QoS Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
サービスの DSCP (DSCP For Services)	電話機ベースのサービスの DSCP IP 分類。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
設定の DSCP (DSCP For Configuration)	電話機の設定転送の DSCP IP 分類。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。
通話制御の DSCP (DSCP For Call Control)	コール制御シグナリングの DSCP IP 分類。	変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。

### 関連トピック

- 「設定メニューの表示」 (P.3)
- 「ネットワークの設定メニュー」 (P.8)

## ネットワークの設定

[ ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューには、ファームウェアのアップグレードを最適化するのに使用する [ ロードサーバ (Load Server) ] オプションがあります。表 4-12 で、このメニューのオプションについて説明します。

表 4-12 [ネットワークの設定 (Network Configuration) ] メニューのオプション

オプション	説明	変更の手順
ロード サーバ (Load Server)	<p>各電話機のアップグレードで WAN リンクを通過する必要がないように、イメージをローカルに保存することによって、電話機ファームウェアのアップグレードのためのインストール時間を最適化し、WAN の負荷を軽減するために使用されます。</p> <p>ロード サーバには、電話機のアップグレードに使用するファームウェアを取得する (TFTP サーバ 1 または TFTP サーバ 2 以外の) 別の TFTP サーバの IP アドレスまたは名前を設定できます。[ロード サーバ (Load Server) ] オプションを設定すると、電話機は、ファームウェア アップグレードのために指定されたサーバと通信します。</p> <p><b>(注)</b> [ロード サーバ (Load Server) ] オプションでは、電話機のアップグレード用の代替 TFTP サーバだけを指定できます。電話機は引き続き TFTP サーバ 1 または TFTP サーバ 2 を使用して、設定ファイルを取得します。[ロード サーバ (Load Server) ] オプションでは、プロセスの管理およびファイルの管理 (ファイルの転送、圧縮、削除など) を行いません。</p>	<p>変更するには、Cisco Unified CallManager Administration を使用します。</p>

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco, Cisco Systems, および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は 2008 年 10 月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



## シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>